

地球電磁気・地球惑星圏学会

SOCIETY OF GEOMAGNETISM AND EARTH,
PLANETARY AND SPACE SCIENCES (SGEPSS)

<http://www.kurasc.kyoto-u.ac.jp/sgepss/>

第172号 会 報 2001年 5月 9日

目 次

運営委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	国際学术交流外国人招聘の募集・・・・・・・・	4
EPS関連報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2	研究助成・学術賞等の募集・・・・・・・・	4
合同学会レギュラーセッション日程・・・・・・・・	3	関連研究会のご案内・・・・・・・・	5
西田会員学士院賞受賞・・・・・・・・	4	人事公募・・・・・・・・	6
西田国際学术交流基金の設立・・・・・・・・	4	SGEPSS Calendar・・・・・・・・	6

運営委員会報告

第210回・211回 SGEPPS運営委員会報告

日時 平成13年2月27日(火) 13:00 - 17:00

場所 京都大学宙空電波科学研究センター会議室

第210回運営委員会

[出席] 第20期会長 松本 紘

第20期運営委員 麻生武彦、家森俊彦、井口博夫、
岩上直幹、大村善治、小野高幸、品川裕之、綱川秀
夫、早川基、星野真弘、山崎俊嗣

第20期運営委員補佐 笹井洋一、横山由紀子

[欠席] 第20期運営委員 歌田久司、田中良和、津田
敏隆 第20期運営委員補佐 湯元清文

第211回運営委員会

[出席] 第21期会長 荒木徹

第21期運営委員 麻生武彦、家森俊彦、井口博
夫、大村善治、小野高幸、小原隆博、品川裕之、綱
川秀夫、中村正人、橋本武志、松岡彩子、山崎俊
嗣、渡部重十

[欠席] 第21期運営委員 歌田久司

第210回運営委員会

1. 前回議事録の確認

2. 学会データベース連絡会報告

学会発表データベースにSGEPSSは1999年6月より参加している。電子化した形式でアブストラクトを集めて欲しいという要望があったが、SGEPSSは既に対応済み。電子ジャーナルシステム利用の依頼があったがEPSがあるので当面は考えない。

3. IUGG2003年総会について

歌田委員・渡部委員が組織委員会に参加している。渡部委員より、配布資料について簡単な説明があった。

4. SCOSTEP Long Range Planning委員会報告

太陽から中間圏までの環境変動(長期変動・短期変動)を対象としてCAWSES (Climate and Weather in Sun and Earth System)と名付けられた。この計画案は、3月中旬SCOSTEPの委員会によるレビューを受け、ビューローで審議されたのち、6月の総会に諮られる。ICSUの会議に、URSIの松本会長が参加した。現在提案されている"IGY+50"について、SCOSTEPのみが先行しているとの批判が、IUGG, URSI, COSPARから出た。今後、歩調を合わせて議論してゆく。URSIは"AP-RASC 01"を8月に開催する。

5. 新入会員・退会者の承認

Saraev Alexander Karpovich (St. Petersburg State Univ.)の入会を承認した。

6. 山田科学振興財団研究助成の推薦について

2件の応募があり、杉山、家森両会員の申請書を学会から推薦することになった。

7. 東レ科学技術賞・西田会員からの寄付金の使途

西田篤弘会員より、東レ科学技術賞の賞金500万円に私財を加えて800万円寄付したい旨の申し出があったので「西田国際学术交流基金」として寄付を受け入れる。若手派遣と外国人招聘のために一件15万～20万円で年間80万円を基準に10年で運用する。運用規定は「学会基金による国際学术交流事業運用規定」と一つにまとめるが内容は今後審議する。

8. 新旧運営委員の引継ぎ

9. 第20期会長及び運営委員会からの申送事項：

- (1)学会名の見直し
- (2)学生会員を増やす
- (3)次期会長候補の選考
- (4)科研費の細目「超高層」の見直し
- (5)賛助会員の維持・勧誘

第211回運営委員会

1. 第21期運営委員会の役割分担

継続性、地域等を考慮して下記のように役割を分担することとなった。

会長：荒木

総務：家森、品川（補佐）、大村（補佐）

庶務：小原（会報）、橋本（Web）、大村（Web）

会計：山崎、松岡

雑誌：小野、山崎

IUGG・学会連合：歌田、渡部、

合同大会連絡会委員：綱川（早川 補佐）

地学連絡協議会：中村

大会・プログラム：井口、渡部、松岡（Web投稿）

会員名簿：品川

分科会：中村

研究連絡委員会担当：渡部、麻生、大村

2. 学会名について

アンケートをとる可能性を含め会員の意見を広く調査する必要があるという意見が複数出された。次回運営委員会までに具体的な名前を出して運営委員会内部で議論することになった。

3. 次期会長候補の選考について

本年12月をめどに、次期会長を選挙する方向で、規定の改正等を検討することになった。

4. 学生会員について

指導教官から積極的に加入を勧めるよう働きかけるべきであるという意見が出された。

5. 会計年度の半年移行について

会計年度を半年移行すると事業年度とずれる等、不都合が生じるので、予算案の審議を半年早くし、会計年度は今のまま4月からとするのが現実的であるという検討結果が前期会計担当から報告された。ただ、この案に対して、繰越金が確定しない等意見が出され、他の学会の事情も含めさらに検討することになった。

6. その他

4月半ばに次号会報の原稿締め切りを設定した。会報については、A4版にすること、解説や学会の記録をとどめるための記事を充実させること等を検討することになった。

次回運営委員会は、6月5日(火) 18時30分から、地球惑星科学合同大会会場(C104号室)で開催予定。

(運営委員会)

E P S 関連報告

2000年度で本蔵E P S編集委員長の任期（4年）が満了することから、E P S誌学会間内規に基づきE P S編集委員長選考委員会を4月3日に開催して選出を行った。当学会からは星野会員と山崎が委員として出席した。

次期E P S編集委員長は引き続き本蔵氏にお願いすることを、出席者全員の賛成により決定した。本蔵氏を推す理由としては、まだ立ち上げの時期でありもう少し安定するまでがんばっていただきたい、E P Sは順調に伸びてきており本蔵氏の実績は高く評価できる、といったものであった。

委員会ではE P S編集委員長/編集委員の任期、あるいはE P Sの編集/運営方針などについて以下のような意見が出された。

・編集委員長、編集委員ともに、内規では再任を妨げないことになっているが、同じ人が長く続け過ぎるのはよくない。編集委員については、適当な割合で交替するべきであろう。

・E P Sの内容に関して、もう少し学会からの意見をフィードバックするような仕組みが欲しい。例えば、国内の著者が大半の特集号は認めない編集方針のため火山の噴火などローカルな現象に対して速報性のある特集が組みにくいとの声があるが、工夫の仕方、インターナショナルなレベルの特集号を組むことは可能ではないか。

E P Sの編集方針に対する学会側からの意見は、E P S編集委員会・運営委員会合同会議で議論する必要がある。

(山崎俊嗣)

2001 年地球惑星科学関連学会合同大会SGEPSS レギュラーセッション日程概要

日程：2001年6月4日(月)～ 8日(金)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

会場名は、IC が国際交流棟会議室，その他は研修センター棟の部屋番号を示します（C101=1階，C304=3階）。各項目は、セッション短縮名を示します。標準時間帯：AM1 9:00-10:30，AM2 10:45-12:15，PM1 13:30-15:00，PM2 15:15-16:45、ポスターセッションは17:00-19:00です。

その他詳細は、合同大会ホームページをご覧ください。 <http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2001>

SGEPSS総会 7日15:15-16:45 C309、SGEPSS運営委員会 5日18:00-21:00 C104、SGEPSS評議員会 6日18:00-19:30 C104

アラスカロケット実験研究会 5日18:00-19:30 C505、外圏会 6日12:15-13:45 C503、CA研究打合せ会 6日18:00-19:30 C108

6月5日(火) 講演：Em,En ポスター：Em,En

会場	収容人数	AM1	AM2	PM1	PM2
C510	40	Em：宇宙・惑星観測	En：太陽圏	En：太陽圏	En：太陽圏

6月6日(水) 講演：Eo,Ep,Eq,Er ポスター：Eo,Eq,Er

会場	収容人数	AM1	AM2	PM1	PM2
C102	200		Eq：地球内部電磁気学	Eq：地球内部電磁気学	Eq：地球内部電磁気学
C501	200			Er：磁気圏物理	Er：磁気圏物理
C510	40	Eo：宇宙プラズマ	Eo：宇宙プラズマ	Eo：宇宙プラズマ	Eo：宇宙プラズマ
C513	80	Ep：電離圏・熱圏	Ep：電離圏・熱圏	Ep：電離圏・熱圏	Ep：電離圏・熱圏

6月7日(木) 講演：Eo,Er,Es,Et,Eu ポスター：Ep,Es,Et 総会：C309 (15:15～)

会場	収容人数	AM1	AM2	PM1	PM2
C401	120	Es：地磁気・古地磁気	Es：地磁気・古地磁気	Es：地磁気・古地磁気	
C402	120	Eu：磁気圏電離圏結合	Eu：磁気圏電離圏結合	Eu：磁気圏電離圏結合	
C501	200	Er：磁気圏物理	Er：磁気圏物理	Er：磁気圏物理	
C510	40	Eo：宇宙プラズマ			
C513	80	Et：大気圏・熱圏下部	Et：大気圏・熱圏下部	Et：大気圏・熱圏下部	

6月8日(金) 講演：Eu,Ev ポスター：Eu,Ev

会場	収容人数	AM1	AM2	PM1	PM2
C501	200	Eu：磁気圏電離圏結合	Eu：磁気圏電離圏結合	Eu：磁気圏電離圏結合	Eu：磁気圏電離圏結合
C510	40	Ev：宇宙天気	Ev：宇宙天気	Ev：宇宙天気	Ev：宇宙天気

西田会員学士院賞受賞

西田篤弘会員（現在日本学術振興会監事、宇宙科学研究所名誉教授）が、この度、日本学士院賞を受賞されました。受賞の対象の研究は「地球磁気圏の構造とプラズマ対流に関する研究」で、磁気圏物理学の基礎過程である磁気圏対流を理論的に明らかにすると共に、ジオテール衛星などの観

測により実証を与えました。西田会員は研究業績において世界的に名声を博すのみならず、後進の育成にも努められ、多くの世界的な研究者を育てておられます。今回の西田会員の日本学士院賞受賞を学会としてお喜びすると共に、今後とも学会への御指導をお願い致します。（運営委員会）

西田国際学術交流基金の設立

西田篤弘会員は、この度学術上の顕著な業績・重要な発見・発明、技術上の重要問題解決などに対して授与される第41回（平成12年度）東レ科学技術賞を受賞（題目は「磁気圏の構造とダイナミックスの研究」）されましたが、その賞金500万円に私財300万円を追加して、合計800万円を若手研究者の国際

学術交流に役立てるため当学会に、寄付されました。運営委員会で検討しました結果、「西田国際学術交流基金」を設立し、「国際学術交流事業運用規定」（第109回総会にて改訂予定）に従い運用させていただきますことになりました。（運営委員会）

国際学術交流外国人招聘の募集

本学会会員と世界の地球電磁気地球惑星圏科学関係の研究者との学術交流を図る目的で、主として、アジア諸国の関連分野研究者が、本学会が主催、または共催する研究集会に参加するための来日旅費及び滞在費の補助を下記により行いますので、推薦される方は、期日までに運営委員会宛応募願います。

1. 対象の集会：本学会が主催または共催する研究集会で、本年7月より1年以内に開催されるもの。
2. 応募資格：主としてアジア諸国の関連分野の研究者で、参加する研究集会で論文の発表もしくは議事の進行に携わる予定の者。当該研究者の推薦は世話に当たる本学会会員が行う。
3. 募集人数：若干名

4. 必要書類：所定の申請書類（PDFファイル（<http://www.kurasc.kyoto-u.ac.jp/sgepss/form2.pdf>）又は、学会事務センター備付）
5. 送り先：地球電磁気・地球惑星圏学会運営委員会（〒113-8622東京都文京区本駒込5-16-9 日本学会事務センター気付）
6. 期日：5月31日（必着）
7. 備考：補助金受領者の選考・義務等については学会基金による国際学術交流事業運用規定（会報171号又は、<http://www.kurasc.kyoto-u.ac.jp/sgepss/kokusai.htm>）をご参照下さい。

研究助成・学術賞等の募集

< 学会推薦が必要なもの >

* 井上学術賞（平成13年度）

総務〆切2001年6月1日(金)必着

自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた、50歳未満の研究者が対象。学術賞として賞状及び金メダルと副賞200万円が授与されます。本学会の評議員会の議を経て候補者1名が推薦されます。

連絡先：財団法人井上科学振興財団

〒150 東京都渋谷区猿楽町 11-20

tel 03-3477-2738 fax 3477-2747

* 東レ科学技術賞（平成13年度）

総務〆切平成13年6月1日(金)必着

学術上の顕著な業績・重要な発見・発明、技術上の重要問題解決などが対象。賞状、金メダル、賞金500万円が授与され、全体で2件前後です。本学会より2件以内を推薦。

連絡先：(財)東レ科学振興会

〒279-8555 浦安市美浜1-8-1

tel 047-350-6103 fax 047-350-6082

* 東レ科学技術研究助成（平成13年度）

総務〆切平成13年9月11日(火)必着

独創的・萌芽的研究を行なっている若手研究者に一件3千万円以下(10件程度)、総額1億3千万円を授与する。本学会より2件以内を推薦。候補者推薦要領と推薦書用紙は6月頃学会に届けられる。

7月1日以降はホームページからもダウンロード可 (<http://www.toray.co.jp/kagaku.html>)

連絡先：(財)東レ科学振興会
〒279-8555 浦安市美浜1-8-1
tel 047-350-6103 fax 047-350-6082

<その他>

* 第5回久保亮五記念賞

〆切2001年6月30日

日本の統計物理学・物性科学における波及効果の大きい基礎的研究で優れた業績をあげた45才未満の若手研究者に対し、賞状、メダル、及び賞金100万円を贈呈する。受賞件数は、毎年1件で、関係専門分野の有識者及び財団の久保亮五記念事業運営委員会委員からの推薦

連絡先：財団法人井上科学振興財団
〒150 東京都渋谷区猿楽町 11-20
tel 03-3477-2738 fax 3477-2747

* 井上研究奨励賞(第18回)

〆切2001年9月20日

平成10-12年度の過去3年間に、理学・工学・医学・薬学・農学等の分野で博士の学位を取得した35才未満の研究者で、自然科学の基礎的研究において新しい領域を開拓する可能性のある優れた博士論文を提出した研究者に、賞状および研究奨励金50万円を贈呈する。受賞件数は、30件。博士論文を指導した研究者の推薦に基づき、学位を授与した大学の学長から推薦を受ける。

連絡先：財団法人井上科学振興財団
〒150 東京都渋谷区猿楽町 11-20
tel 03-3477-2738 fax 3477-2747

* 2001年度地球化学研究協会学術賞「三宅賞」及び「奨励賞」候補者の募集

地球化学研究協会より、「三宅賞」及び「奨励賞」候補者推薦の応募用紙が総務にきています。

1. 三宅賞

地球化学に顕著な業績をおさめた科学者を対象賞状、賞金30万円を1名に授与。

2. 奨励賞

推薦締切日に35才以下で地球化学の進歩に優れた業績を挙げ将来の発展が期待される研究者1名に、10万円を授与。

3. 応募方法：所定の用紙に略歴、研究業績、推薦理由などを記入し、下記のあて先へ送付。

4. 締切日：2001年8月31日

5. 応募先：地球化学研究協会

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217
tel 03-3330-2455 (fax兼用)

* 宇宙科学振興会・平成13年度研究助成候補者募集(国際研究集会参加費用援助)

宇宙理学(地上観測を除く)及び宇宙工学(宇宙航空工学を含む)に関する独創的・先駆的な研究活動を行う若手研究者(昭和41年4月2日以降生まれ)で、国際研究集会で論文発表が原則として確定しているもの。大学・研究機関の承諾を得て応募の事。援助金額は、1件あたり約15~20万円。採択数は年間10~15件程度です。

申込み〆切：7月1日以降出発者は5月15日

11月1日以降出発者は9月15日

3月1日以降出発者は1月15日

連絡先：(財)宇宙科学振興会事務局

〒229-8510 神奈川県相模原市由野台3-1-1
文部科学省 宇宙科学研究所内
tel 042-751-1126

関連研究会のご案内

* 第8回プラズマエレクトロニクス・サマースクール

日時：7月30日15時~8月1日12時
場所：名古屋市民御岳休暇村(〒397-0201 長野県木曾郡王滝村3159番地25)

内容：プラズマエレクトロニクスの基礎講義など
参加費：一般43,000円 学生20,000円(宿泊費、食費、テキスト代など含む)

連絡先：〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1
都立大学工学部電気工学 朽久保文嘉
tel 0426-77-2744 fax 0426-77-2756
E-mail tochi@eei.metro-u.ac.jp

* 第23回宇宙ステーション利用計画ワークショップ

日時：平成13年7月23日~7月25日
毎日9:30~17:00

場所：砂防会館 シェーンバッハ・砂防
(東京都千代田区平河町2-7-5)

内容：宇宙ステーションの利用計画と展望について、国内外の専門家を招聘し講演及び議論を行う。

参加費：無料

連絡先：(財)宇宙環境利用推進センター
宇宙実験推進部 三松/野村
tel 03-5273-2442 E-mail: sepd@jsup.or.jp

人事公募

京都大学防災研地震予知研究センター

- 1 職名：助手 1 名
- 2 所属：地震予知研究センター地殻変動研究領域
- 3 研究内容等：地震予知研究センターの一研究領域として地震予知研究を推進する。主として地球内部電磁気・地下水などの地球物理学的手法にもとづき、観測の実施およびデータ解析等を通じて、地震発生の準備過程および直前過程の研究を行う。また、京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻の教育を担当する。
- 4 任用時期：決定後できるだけ早い時期
- 5 応募資格：年齢35歳以下で、博士の学位を有する者、または、着任時に博士の学位取得が確定している者。国籍は問わないが、日常的に日本語が使えることが望まれる。

- 6 提出書類：次の(1)～(6)各一式
(1)履歴書(2)研究業績一覧(「査読あり」および「査読なし」に区分けした論文の一覧表)
(3)主要論文別刷(コピー可)(5編以内)
(4)研究業績の概要(A4用紙2枚以内)
(5)今後の研究計画・抱負(A4用紙2枚以内)
(6)意見を伺える方2名の氏名と連絡先
- 7 公募締切：平成13年6月15日(金)必着
- 8 書類提出先：〒611-0011 宇治市五ヶ庄
京都大学防災研究所 地震予知研究センター
地殻変動研究領域助手候補者選考委員会 宛(封筒の表には「教官応募書類在中」と朱書き、郵便の場合は書留にすること)
- 9 問い合わせ先：〒611-0011 宇治市五ヶ庄
京都大学防災研究所 地震予知研究センター長
tel / fax : 0774-38-4226

SGEPSS Calendar

[2001年]		
5月29日～6月2日	: AGU 2001 Spring Meeting	Boston, U.S.A.
6月4日～8日	: 2001年地球惑星科学合同大会	国立オリンピック記念青少年総合センター、東京
7月17日～22日	: 第25回電離気体現象国際会議	名古屋国際会議場
7月23日～27日	: 10th International EISCAT Workshop	国立極地研究所、東京
8月1日～4日	: AP-RASC '01 2001年アジア太平洋電波科学会議	中央大学、東京
8月18日～30日	: IAGA-IASPEI Joint Scientific Assembly	Hanoi, Vietnam
11月22日～25日	: 第110回地球電磁気・地球惑星圏学会総会・講演会	九州大学、福岡
12月10日～14日	: AGU 2001 Fall Meeting	San Francisco, U.S.A.
[2002年]		
4月22日～26日	: 27th European Geophysical Society	Nice, France
5月28日～6月1日	: AGU 2002 Spring Meeting	Washington D.C., U.S.A.
10月10日～20日	: 34th COSPAR Scientific Assembly(2nd World Space Congress)	Houston, U.S.A.

地球電磁気・地球惑星圏学会

会長 荒木 徹 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科

TEL: 075-753-3951 FAX: 075-722-7884 e-mail: araki@kugi.kyoto-u.ac.jp

総務 家森 俊彦 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科

TEL: 075-753-3949 FAX: 075-722-7884 e-mail: iyemori@kugi.kyoto-u.ac.jp

庶務 小原隆博(会報担当) 〒184-8795 東京都小金井市貫井北町4-2-1 通信総合研究所 第3部門

TEL: 042-327-6431 FAX: 042-327-6661 e-mail: T.Obara@crl.go.jp

運営委員会 〒113-8622 東京都文京区本駒込5丁目16番9号学会センターC21 学会事務センター気付

TEL: 03-5814-5810 会員業務(入退会、住所変更等、会費、会誌)

TEL: 03-5814-5801 学会業務(庶務、窓口、渉外)

FAX: 03-5814-5820

入会申し込みは運営委員会宛、研究助成金案内は総務宛、会報への投稿は担当庶務宛ご連絡ください。
会報へのご提案、ご意見、情報提供、寄稿をお待ちしています。